

播磨町へようこそ！！

今回の来町の目的の一つは、日本とアメリカの架け橋として播磨町とライマ市の姉妹都市提携の当初からご尽力された桂子・ハーンさんの、人生を描いた舞台『WAR BRIDE—アメリカと日本の架け橋 桂子・ハーン—』の観劇でした。舞台では、戦争の悲惨さや家族の絆が描かれ、町民と訪問団は国や文化の違いを超えて同じ感動を分かち合いました。

☎ 079-435-2364
問 協働推進課



ライマ市姉妹都市協会訪問団、播磨町へ

播磨町の姉妹都市である、アメリカ合衆国オハイオ州ライマ市より、訪問団5人が来町しました。9月5日～9日まで播磨町に滞在し、歓迎会への出席、大中華遺跡公園やのぞえ花火大会を訪れるなど、日本の文化に触れ、町民との交流を楽しみました。

戦没者のご冥福と恒久平和を祈念しました

9月27日、中央公民館大ホールで播磨町戦没者追悼平和祈念式を執り行いました。式典では、参列者による献花や、町内小学生児童による平和の詩の朗読が行われ、戦争で犠牲になられた方々のご冥福と恒久平和の実現を祈念しました。

☎ 079-435-2364
問 協働推進課住民協働係

☎ 079-435-0311
問 健康福祉課地域福祉係

☎ 079-435-0311
問 健康福祉課地域福祉係

また、特別展示として、播磨町の姉妹都市であるライマ市との、平和と友好の歩みについての展示も行いました。

戦後80年の節目である今年、改めて戦争の悲惨さと平和の大切さについて考えていただく機会となりました。

中央公民館ロビー、図書館2階、土山駅南交流スペース（きつずなホール）では、9月22日～28日まで平和展を開催し、戦争に関する資料の展示や、平和学習DVDの上映を行いました。



▲戦後80年特別展示



▲詩の朗読を行った児童

播磨町戦没者追悼平和祈念式と平和展

式典では、参列者による献花や、町内小学生児童による平和の詩の朗読が行われ、戦争で犠牲になられた方々のご冥福と恒久平和の実現を祈念しました。

継続は力なり！



▲植原颯亮さん

11月16日から東京で開催される2025年日整全国少年柔道大会に、播磨小学校4年生の植原颯亮さんが、兵庫県代表として出場されます。強さの秘訣は毎朝のランニング。自宅から大中華遺跡までの約4kmを、毎日走っています。

☎ 079-435-0356
問 企画課秘書広報係

町長は「努力を積み重ねることを続けてほしい」と激励しました。植原さんの今後の活躍に期待しましょう。

町長は「努力を積み重ねることを続けてほしい」と激励しました。植原さんの今後の活躍に期待しましょう。

町長は「努力を積み重ねることを続けてほしい」と激励しました。植原さんの今後の活躍に期待しましょう。

植原颯亮さんが柔道の大舞台

次代を担う子どもたちの健全育成を目指して

この度、10月1日付で播磨町教育長を拝命し、その重責に身の引き締まる思いです。播磨町の中学校で30年間、教育委員会10年間勤めさせていただきしました。これまでご理解とご協力をいただきました保護者の皆さま、そして公私に渡りお力添えを賜りました地域の皆さまに、改めて感謝申し上げます。



教育長就任あいさつ
播磨町教育長 赤松 幸子

40年前、初めて赴任校の播磨南中学校へ向かう時のこと。駅に降り立ったものの、どう行ったらいいのかわからず戸惑ってしまいました。通りがかった中学生に尋ねると、笑顔で学校まで案内してくれました。感銘を受けた親切な応対ぶりを、今でもはつきり覚えています。今や、彼をはじめとするたくさん卒業生があらゆる分野で播磨町に貢献されています。その姿を見るにつけ、うれしさと頼もしさを覚えます。

お願い申し上げます。

播磨町の指標「誰ひとり取り残されないまち」の下、子どもたちを取り巻く環境の整備に、「3×3」のコンパクトさを生かしていききたいと思えます。町ぐるみで「まちの宝」を育て、やがて彼らが社会の一員として、播磨町のみならず世界のいたるところで活躍して欲しいと願っています。次代を担う子どもたちの健全育成を目指して、微力ながら誠心誠意取り組みます。なにとぞご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

町の課題に向き合い、提案を交えながら質問しました

播磨町中学生議会を開催

9月22日、播磨町役場にある議場の議員席に町内中学3年生の生徒会役員の6人の中学生議員が揃い、岡田議長の進行のもと町長はじめ町職員に一般質問を行いました。中学生議員は、各学級で播磨町の課題について話し合いを重ね、生徒会で意見を集約し、一般質問に挑みました。

質問に対する答弁は、町長を中心とした会議で協議し、誠意をもって真剣に向き合い、中学生に伝わりやすく説明できるように工夫しています。

中学生の皆さんも学校でライブ中継を見て、臨場感あふれる議会体験し、まちづくりを考える機会となりました。

☎ 079-435-0545
問 地域学校教育課



▲町職員は会議をした後議会へ



▲堂々と発言をした中学生議員

9月は認知症啓発月間でした



▲総合福祉センターのオレンジ色ライトアップ



▲シンボルカラーのオレンジ色のスカーフ

☎ 079-435-0313
問 保険課地域包括ケア係

認知症について、住民の皆さんにもっと知ってほしいと、シンボルカラーであるオレンジ色を使用したキャンペーンを行いました。今年、新しい試みとして、総合福祉センターと福祉しあわせセンターの2カ所で、オレンジ色のライトアップを行いました。また、役場第1庁舎ロビーでは、播磨町PRキャラクターの「てんいちさん・たてよこさん」が、オレンジ色のスカーフを身に着けて、認知症月間についてアピールしてくれました。

オレンジ色でアピール

どきどきわくわく、オポナカムラまつり



はんこ、スタンプ、楽しい



出番の前にグルメ



会場内に現れたイノシシ



まさともお兄さんの歌のステージは大人気(播磨町PR大使 望月雅友さん)



万博PRのためにミャクミャクもイベントに参加



播磨町無形文化財「古宮獅子舞」健在です



ステージ前



この復元住居は明石高専の学生の手で作り続けています

☎ 079-435-0565
問 協働推進課生涯学習係

大雨にも関わらず、元気にまつりを楽しみ人たちが大賑わいでした。

大中遺跡まつり(10月4日)

いざという時に備えて

☎ 079-435-0991
問 危機管理課

参加者からは「普段通らない道を歩いている所が抜け道である」と気づいた。「改めて備蓄品などを確認するいい機会になった」などと喜ばれました。



▲太陽光で調理ができるソーラークッカー



▲備えている笛や非常用ブランケットを見せてくれました

安心・安全なまちづくりを目指して

福祉避難所に関する災害協定を締結しました

9月24日、播磨町社会福祉協議会、株式会社アミティライフ、株式会社ソワサポート、一般社団法人ソワサポートセンターとの「災害時に福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することにに関する協定」の締結調印式を執り行いました。

この協定は、災害時における要配慮者等の安全確保を図ることを目的としております。「ゆうあい園」「サービス付き高齢者向け住宅ひだまり」「放課後等デイサービス事業所コッコロ」「就労支援継続B型事業所S210」を福祉避難所に追加します。災害時に福祉避難所を開設する必要があるときは、これらの事業者と協力を要請します。



☎ 079-435-0991
問 危機管理課

また、播磨町では、福祉避難所への直接避難はできません。一般避難所で保健師のトリアージを受けて、福祉避難所への避難が必要な人から避難できます。

秋の全国交通安全運動期間中に街頭啓発を実施しました！

秋の全国交通安全運動期間中に街頭啓発を実施しました

9月24日に、秋の全国交通安全運動期間に合わせて播磨町立播磨小学校で加古川警察署・加古川交通安全協会播磨支部・播磨小学校と合同で街頭啓発を実施しました。街頭啓発を実施した播磨小学校校門(上ノ池側)前の交差点は見通しが悪く、事故が多発する場所ですが播磨小学校の多くの児童が通学する道路です。そのため、通勤通学時間帯に合わせて通行車両や自転車にむけて「横断歩道は歩行者優先」、「スピード落とせ」の横断幕を掲げ街頭啓発を実施しました。



☎ 079-435-0991
問 危機管理課

ボウリングで全国へ

全国障害者スポーツ大会に出場

10月25日から27日に滋賀県で開催される第24回全国障害者スポーツ大会に出場が決定した、町内在住の黒石あいさんが表敬訪問しました。

出場する競技はボウリングで、全国規模の大会に出場するのは今回が初めてです。「練習では、たまたま隣のレーンでプレーしている人たちから教えてもらうことがあり、いつも新しい発見があります」と語る黒石さん。大会当日に実力が発揮できるように、練習を重ねる日々です。

町長は「この経験は宝になるはず。楽しんでチャレンジしてほしい」と激励の言葉を送りました。

☎ 079-435-0356
問 企画課秘書広報係



▲黒石さん